



2020年10月9日

各 位

会 社 名 リファインバース株式会社
住 所 東京都中央区日本橋人形町三丁目10番1号
代 表 者 名 代表取締役社長 越 智 晶
(コード番号：6531)
問い合わせ先 経営管理部長 北 垣 栄 一
TEL. 050-1748-5771

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2020年9月30日に関東財務局に提出いたしました2020年6月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、財務報告に係る内部統制は有効ではない旨の記載をしておりますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

2020年6月期事業年度末日において、当社グループは、適切な経理・決算業務のための必要かつ十分な専門知識を有した社内における人材が不足しており、適切な決算資料や開示書類の作成及び会社内部での検証を行うことができず、当事業年度末の財務諸表及び連結財務諸表に関して会計監査人からも次の指摘を受けました。

- ・経理体制に脆弱性があること。
- ・決算作業上の会計処理の誤り、開示書類上の誤りが監査において多く検出されたこと。
- ・決算処理及び監査対応が大幅に遅延したこと。

これら事象が発生した原因としては、信頼性のある財務報告の作成のために必要な能力を有する人材を確保・配置できなかったこと、人員の不足により会社内部のチェックが十分に機能しなかったこと、会計基準の理解が不十分であったことによるものであります。これらの全社的な内部統制及び決算・財務報告プロセスに係る内部統制の不備は、当社グループの財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき不備に該当すると判断しました。

2. 事業年度末に訂正できなかった理由

上記の不備について、当事業年度末までに是正されなかった理由は、以下の通りであります。

- ・当事業年度中に経理課長が退職し、採用活動を行いました。当事業年度末までに、適時適切な経理・決算業務に必要な必要かつ十分な知識を有する人員を確保するまでには至らず、相互チェック及び牽制体制を整備することができなかったこと。
- ・新型コロナウイルスの対処を進めながら決算進捗管理体制の構築を円滑に進めることができなかったこと。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告の信頼性を確保するための内部統制の整備及び運用の重要性を十分に認識しております。経理部門に必要な必要かつ十分な知識を有する人員の確保を行い、当該不備を早急に解消し、適切な内部統制を整備し運用していく方針であります。

4. 連結財務諸表等に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正は、2020年6月期有価証券報告書に反映しており、当該連結財務諸表等に与える影響はありません。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以 上